

平成23年度の市政経営



臨時自治会行政連絡会で自治会の代表に津波や地震への対策について説明する市長

防災対策を再検討して 安全安心なまちづくり

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災された方々に心からお見舞い申し上げます。亡くなられた方のご冥福を祈り、ご遺族に心からお悔やみ申し上げます。被災地の復興が進みますことを節に願うとともに、できる限りの支援をしてまいります。東日本大震災は、これまで想定し得なかった規模の地震や津波により、言葉では言い表せない想像を絶する甚大な被害をもたらしました。また、原子力発電所の安全安心の信頼が崩壊するなど、日本のエネルギー行政に与える影響も計り知れないものとなりました。海岸線を有し、原子力発電所の隣接市として、さらには、東海地震が想定されている地域として、今回の震災は人ごとではありません。これまでの防災対策を見直

すとともに、市役所と地域、市民との連携により、安全で安心して過ごせるまちづくりに取り組んでまいります。特に、災害時においては協働・連携の取り組みなくして対応することは困難です。

自治基本条例に基づき 幸福実現都市を目指す

これまで市民参画と協働を掲げ、市政経営に取り組んでまいりました。特に、災害時においては協働・連携の取り組みなくして対応することは困難です。市議会2月定例会におきまして「自治基本条例」が可決されました。この自治基本条例では、市民誰もが市政に参画できる場や情報への権利を保障しているだけでなく、市の職員や市民の皆さまが一緒になってまちづくりに取り組んでいく目標がはっきりとうたわれています。

とが重要であると考えます。自治基本条例に基づく運用のための作業を進め、条例案の前文にあるように、誰もが希望と誇りをもって、心豊かに安心して暮らしている「幸福実現都市」を目指し取り組んでまいります。

市民意識調査の結果を 踏まえ事業を進めます

富士山静岡空港の開港や榛原総合病院の指定管理者制度への移行などといった情勢変化や、22年1月に実施した市民意識調査結果などを踏まえ、
▽「安全安心に暮らせるまち」
▽「心も体も健康で過ごせるまち」
▽「活力あるまち」
▽「子どもを育てるまち」
▽「環境に配慮したまち」
▽「効率的な行政経営のまち」の6つの主要な取り組みを進めてまいります。



牧之原市長

西原茂樹

平成23年度の市政経営

心豊かに安心して暮らせるまちづくり

■予算 ■主要事業

問い合わせ

- ▶ 市政経営 企画課 大石 ☎0040
- ▶ 主要事業・予算 財政課 大石 ☎0054

新年度がスタート。市では平成23年度予算が決まり、一般会計で174億3,000万円を計上しました。これは、市民の皆さんが心豊かに安心して暮らすための予算です。本年度の市政経営の方向やどのような事業に予算が使われるのかなどについて、主な内容をお伝えします。